

# 「深い安堵」と「誇り高き品格」の融合

邸宅としての品格ある佇まいに迎えられ、  
足を踏み入れた先に広がるのは、  
静けさと深い安堵で包み込み、  
身も心も緊張から解き放たれる心地よさ。

マンションの「顔」とも言われるエントランスは、  
やすらぎ、気品、落ち着き、風格、ぬくもり、威厳……  
それぞれの物件の個性にふさわしい表情で、  
住まう方や訪れる方を迎えます。

今回は、タワー型や多棟型といった大規模物件を中心に  
グランドメゾンならではのエントランスの設計思想に着目。  
「深い安堵」と「誇り高き品格」を融合させた  
エントランスまわりの在り方を考察してみました。

2層吹き抜けの広がりのある空間に、木の質感をたえたグランドエントランスホール。ホテルのロビーのような高級感と、自宅のリビングに漂う安心感が融合し、上品な落ち着きを演出しています。  
(グランドメゾン新梅田タワー THE CLUB RESIDENCE・グランドエントランスホール完成予想CG/大阪府)



エントランスを通り抜けながら緊張がほぐれ、  
徐々に「家にいる時の顔」に変わっていくんです。(平上)

住まう方をやさしく包み込み、  
落ち着きと品格を醸す空間

マンションの顔とも表現されるエントランスまわりの空間づくりについて、グランドメゾン(以下、GM)ではどのようなスタンスで取り組まれているのでしょうか。

「住まいの第一印象に大きく影響を与えるので、一歩足を踏み入れたときに、気品や重厚感、洗練された癒やし、穏やかな心地よさなど、そのマンションらしさを感じていただけるようなエントランスづくりを心がけています」(吉田)

「訪れる方を気品高く迎え入れ、住まう方がGMオーナーとしての誇りや喜びを感じられる空間ができれば、それが住み心地のよさ



豊かな森に抱かれたGM仙川のエントランスホールは、大きな窓の向こうにウェルカムガーデンが広がる開放的な空間。水平方向に広がりを持たせているため、天井高はほどよく抑えています。(GM仙川/東京都)



緑と水、豊かな自然に包まれた浄水通りのイメージを再現したエントランスホール。たっぷりの水をたたえた水盤には、優雅な波紋が描き出されます。(GM浄水ガーデンシティフォレストゲートII/福岡県)



大開口に目隠しルーバーを設け、周辺の建物を見えにくくしながら光を取り入れたエントランスホール。インテリアにレンガ風のタイルを用いることで、外構との連続性を持たせています。(GM夕陽丘タワー/大阪府)



OFFが切り替わり、リラックスした家になる時の顔を取り戻していけるんじゃないでしょうか(平上)

「たとえばGM新梅田タワーTHE CLUB RESIDENCEのエントランスホールは、大規模物件の特性を活かして2層吹き抜け6m超の天井高を確保。圧倒的な高さがありながらも、空間自体は広げすぎず、ヒューマンスケールでやさしく包み込むような雰囲気重視しました(P10写真参照)」(小田)

「マンションギャラリーでもその天井高や趣を再現しているので、お客様に居心地のよさを体感していただけるんです。落ち着くって、こういうことなんだと気づかれました。

単純に広ければ、豪華であればいいというものでもないですね」と、GMのコンセプトに共感してくださると嬉しくなります(平上)

「エントランスは販売時の分かりやすい訴求点となるがゆえに、とすればインパクト重視に陥りがちですが、私たちは安易にそこを追求することはありません」(青山)

「GMではインパクトではなく、心地よさを最も重視しており、居心地はいいのか?この街に、このマンションに住まう方に、ふさわしい設えになっているのか?を常に問いかけ、住まい手目線になって考えています」(吉田)

talking member 大阪マンション事業部(左から順に)

- 吉田和也:設計室/一級建築士/宅地建物取引士/ゴルフが趣味。最近では仕事関係の人だけでなく、大学時代からの友人や小学校の同級生、ご近所さんなど幅広い人と一緒にプレーするようになりました。
- 小田真実:設計室/二級建築士/宅地建物取引士/学生時代から「よさこい」を続けており、現在は三重県のチームに所属。毎年お盆の時期にはよさこいの本場、高知で踊りを披露しています。
- 平上来実:分譲営業室/宅地建物取引士/カフェでゆっくり本を読んだり、自分のための時間を大切にしています。また最近では行動範囲を広げたいと思うようになり、ペーパードライバー講習も受けてきました。
- 青山拓:分譲営業室/宅地建物取引士/休みの日には、2歳の娘と一緒に公園で遊ぶのが楽しみ。帰宅が遅くなった日にも、すやすやと眠っている可愛い寝顔を見るだけで癒やされます。

時には連続性を強調し、時にはメリハリをつけ、  
わが家へのストーリーを展開していきます。(青山)

私邸へと誘いながら、  
徐々に安堵感を深めていく

マンション計画にあたり、エントランスまわりの設計はどのように進めていくのでしょうか。「どこにどのような広さ・形状のエントランスを配置するかは、敷地全体の活かし方に関わるポイントとなるので、計画の初期段階で決めます。土地の形状や面している道路、アクセスのしやすさ、住まう方の家族構成やライフスタイルなどを考えながら、ベストなプランを探るんです」(吉田)

「その際、セキュリティの観点も欠かせません。安全・安心という大前提がなければ、安堵感を得られません。多重の防犯対策の中でもエントランスは最大の砦。GMではオートロックな



地下1階に位置する2層吹き抜けのエントランスホール。目の前には立体感のある庭が広がり、外光がたっぷり降り注ぐため、地下とは思えない明るさを確保しています。(GM西原三丁目/東京都)



折上げ天井と間接照明を組み合わせ、広がり演出したエントランスホール。窓という額縁で絵画のように切り取った植栽は、季節の移ろいを感じさせ、訪れた人の目を楽しませてくれます。(GM茨木下中条/大阪府)



四季折々、表情が変化していく豊かな植栽帯。その中央で温かい光を放つのが、迎賓の趣をたたえたグランドエントランスです。(GM新梅田タワーTHE CLUB RESIDENCE・エントランスアプローチ完成予想CG/大阪府)



エントランスホールの先に広がるグランドロビー。世界的な工業デザイナー奥山清行氏によるタピストリーが気品を添えます。(GM新梅田タワーTHE CLUB RESIDENCE・グランドロビー完成予想CG/大阪府)

どの機械設備に加え、侵入しにくそうと印象づけるようつくり、建物形状にすることも

「防犯性能の部だと考えています」(青山)

「日常の安全面から車と人のアクセスを分ける歩車分離も大切で、大規模物件では車寄せを設けて、安全性と風格をともに高めることもあります」(吉田)

「それらを考慮して配置や規模が決まったら、エントランス全体のイメージづくりに取り組めますが、まずどのような物件として完成させるのかという視点が重要ですね」(小田)

「たとえば、自然豊かな郊外型のマンションであれば、開放的なガラス張りのエントランスにして四季折々の景色を楽しめるようにすることがありますね」(平上)

「逆に、街中で外からの視線が気になる場合



は、外界は遮断してインテリアの設えにこだわり、上質空間を演出するという感じですね。実際には、配慮する要素はもっと細部にわたってたくさんありますが」(小田)

「GM新梅田タワーTHE CLUB RESIDENCEの場合、向かいにクラシック音楽専用のコンサートホール「ザ・シンフォニーホール」があることから、文化の香り漂う街にふさわしい重厚な風格をもたらししています」(吉田)

「植栽帯の中央に、奥行きのある庇と明かりのともったエントランスが浮かぶ姿は、まさに邸宅の趣がありますよね」(平上)

「タワーマンションのような高さのある建物を真下から見上げると圧迫感があるものですが、

大きくせり出した庇で上方の視界を遮り、その下を通してヒューマンスケールのエントランスへ入ることで、家に帰ってきたという安堵感を得られるようにしているんです」(小田)

「もう一つ、設計段階で大切にしているのは、『正面性』を持たせることです」(吉田)

「正面性」というと、帰宅した住まい手や訪れた人に正面から向き合うシンメトリーなデザインにすることが基本になりますね。こちらが正面ですよと示すことで、安定感・安心感が生まれるんです」(青山)

「さらに、視線の流れにも配慮しています。たとえば、まず正面に壁を設け、視線を受け止めます。そこから曲がついていくと次の空間が広がる。そうしたクランク状の動線を意図的につくり出すことも少なくありません。視界にアクセントをつけることで、奥行きのある邸宅感を演出することができます」(小田)

「エントランスからラウンジ、EVホールへと場面が切り替わるとき、あえて間口を狭める



## 「誰が、いつ、どのようを使うスペースか」

その視点がなければ、使える共用施設はできません。(吉田)



「共用施設は使っていたら生きてこそ生きるもの。暮らしたなかで自然に利用してもらえようとしているんですよ」(平上)

「たとえば大開口の向こうに庭が広がるような気持ちのいいエントランスであれば、樹々をゆつくり眺められるように窓際にラウンジスペースを設けるようにします」(小田)

「エントランス上のフロアにライブラリーやラウンジを設けている場合は、上がってみたくなるような階段の設えなど期待感が高まるような演出をしています」(吉田)

「私たちがつくるのはマンションという建物、つまりハードですが、それぞれのスペースの使用シーンを思い描き、そこで提供されるサービスを設定しながら計画を詰めていきます。たとえばラウンジのソファに座って、コーヒーを飲



外光が降り注ぎ、開放感あふれるグランドホール。石や木などの自然素材をふんだんに取り入れ、駅直結型タワーマンションにふさわしい重厚感のある迎賓空間に仕上がっています。(GM池下ザ・タワー/愛知県)



古きよき洋館の風情をたたえたGM伊勢山のエントランス。あたたかみのある木目と落ち着いたダークカラーを中心にコーディネートすることで、優雅な趣、高級感を演出しています。(GM伊勢山/神奈川県)



2層吹き抜けのエントランスホール。向かって左の大開口奥への抜け感、スケルトン階段を組み合わせることで、開放感あふれる空間に仕上がっています。(GM上町台テラス/大阪府)

「ながらゆつくりくろくろいでいただきたい」とイメージすると、必要なスペースや動線計画、バックヤードの在り方なども自然と思いつかんでくる。ハードとソフトを一体に考えるからこそ、生きた空間が生まれるのです」(小田)

「実際に使われるスペースがあるから、エントランスまわりに活気が満ち、行き交う人の交流が生まれるんだと思います」(平上)

「誰が、いつ、どのようを使うスペースなのか。常にその視点を意識して空間づくりに取り組んでいます。そして、人と人との交流が生まれることによって、住まう人の暮らしがより豊かになってほしい。そう願っています」(吉田)

「このようなマンション内での交流に加えて、

## 年月を重ねて風格を増し、周辺環境とも調和する



### 「経年美化」の思想を深めていきたいです。(小田)

「あと通り沿いに広大な緑地を設けて、外からは見えないくらい奥まったところにエントランスを設ける。そんなお屋敷のようなマンションもご提案できたらいいなと思っています」(平上)

「都心近くの土地には限りもありますが、アプローチをあえてカーブさせて散策路を設けたり、エントランスの向きや位置を工夫することで樹々に囲まれた邸宅の趣を演出している例はありますね」(青山)

「豊かな自然に包まれた邸宅感のあるマンションというのは、私たちの住まいづくり思想の延長線上にあるものなのです」(吉田)

「お話を伺っていると、何かが劇的に進化するというより、脈々と受け継がれてきたGMのアイデンティティを、深化させていくという表現の方が合っているように思えました。

「そんなですね。基本のスタンスは変わらず、普遍的なものだと言えます。過去のGMを振り返ってみても、今なお新鮮さをもって見習いたいと思えるものがあるんですよ」(小田)

「時を重ねたGMは街のなかでも際目を引く存在となっていますね。むしろ長い年月を経たからこそ、樹々の幹が太くなり、風格が増していく。時を経てより美しくなるというのは、GMならではの特徴です」(青山)

「今後も、経年美化」というGMの基本思想を深めていきたいと考えています」(小田)

「住まう方にとってマンションを手に入れるのはゴールではなく、新しい暮らしのスタート地点に立ったところ。これから長い年月をかけて二人

「子ども頃のアルバムをめくると、玄関前で撮った家族写真がありませんか？お正月や入学式などの節目を記録に残すときにふさわしい場所と考えると、マンションではエントランスになるのかもしれませんが。家族の物語を守り続ける場であり、小さなお子様の原風景として心に残るのではないですか」(吉田)

「お子様の成長とともに、風格あるエントランスになつていく。そして近隣住民の方々にも、緑に包まれたGMのある風景を誇りに思ってもらえる。そんなGMを提案し続けていきたいと考えています」(小田)

\*

「これから時を経て、あなたの目に映るエントランスはどのようになってしまうのでしょうか。折に触れてエントランスで家族写真を撮り、その変化を定点観測してみるのも、面白いかもしれませんよ。」



2面に設けた大きなガラス窓から美しい緑を見渡せる「森のカフェラウンジ」。庭を眺めながらコーヒーや焼ききたパンを楽しめるほか、読書やパソコン作業など、思い思いの時間を過ごせます。(GM仙川/東京都)



誰もが緑に囲まれて心地よく過ごせる都市の里山。散策路やゆるやかな起伏のある芝生広場が広がります。(GM新梅田タワー THE CLUB RESIDENCE・シーズンフォレスト 完成予想CG/大阪府)



正面性を際立たせる。左右対称や幾何学的構造。大空間でありながら、木目とホワイトを基調とした上品なカラーコーディネートにより、落ち着いた重厚感と威厳を感じさせます。(GM大手前タワー/大阪府)



広大な敷地に、里山を手本とした豊かな森を造成したGM品川シーサイドの杜。メインエントランスまでのアプローチは、四季折々の樹々と花々で彩られており、散策気分を味わえます。(GM品川シーサイドの杜/東京都)